

# 大山恵みの里だより vol.1

今月号から、「大山恵みの里づくり計画」の取り組み状況や、大山振興課と、(財)大山恵みの里公社がどんな仕事をしているのかをご紹介します。

(財)大山恵みの里公社は、『大山恵みの里づくり計画』の中で物産振興を担当する組織として8月に立ち上げました。下岡真事務局長をリーダーに、関係機関とも連携をとりながら、町内産品の磨き上げ、新規販路開拓などを進めています。

10月20日には、大山町ブランド協議会を立ち上げ、町内産品をブランド化するための基準作りへの取組みを始めました。また、新規販路開拓を目指して、県外のイベントに出店したり、スーパーやデパートなどとの商

談を進めています。その結果、現在は米子市内のスーパーで、西日本一の生産量を誇るJA鳥

取西部の『大山プロッコリー』や特産化が期待できるエムズプランの『大山はたけしめじ』、大山山麓の黒ぼくで育てられた珍しい紫大根の漬物、大山高原漬物の『紅しぐれ漬』の販売が実現しました。その他にも県外スーパーなどとの商談もまとまりつつあります。

また、12月6日には、大山の食の磨き上げの一環として『大山そばワークショップ』を大山旅館組合と合同で開きました。9月に第1回目を開き、2回目の今回は、大山、日野、出雲産のそば粉を使った手打ちそばを食べ比べました。日野産のそばは風味が強くおいしいという意見もありましたが、大山産のそばもそれに引けをとらないくらいおいしいと、参加者から好評をいただきました。引き続き、「これぞ大山そば」といつてもらえる基準作りに取組みます。会社では、新しい特産品づくりのアイデア、販路開拓など物産振興に関するることなどについて

て相談に応じます。お気軽にご相談ください。



手打ちそばを食べ比べました (12/6 第2回大山そばワークショップ)

## お知らせ

### 大山恵みの里づくりセミナー

「住民参加の元気なまちづくり  
～みんなで大山の魅力をアピールしよう～」

1月25日 (金)

時間：午後1時30分から

場所：保健福祉センターなわ (多目的ホール)

- 講演 演題「住民参加の元気なまちづくり～みんなで大山の魅力をアピールしよう～」
- 講師 米田真子氏 (株式会社パオ・フィール プロデューサー)

大山町は山の幸・海の幸などたくさんの恵まれた地域資源を有しています。これらを活かしたまちづくりをしていくために必要な勉強会としてセミナーを開きます。皆さん、お誘いあわせて是非ご参加ください。

#### ※問い合わせ先

(財)大山恵みの里公社

TEL 0859-39-5016

FAX 0859-53-3163

役場大山振興課

TEL 0859-53-3313

FAX 0859-53-3163

- 主催 財団法人大山恵みの里公社、鳥取県中小企業団体中央会
- 後援 財団法人鳥取県産業振興機構
- 協賛 大山町

### 米田真子氏

#### ● 講師紹介

さまざまな行政や企業のPR業務、販売促進のための新商品開発、パッケージデザイン、それに伴うイベント、印刷物の企画立案から実施までを手がけるプロデューサー。

小豆島・土庄町などのまちづくりのための仕掛けを行い、現在は、「にぎわい・エコロジー・防災」の3つを組み合わせたまちづくりに取り組んでいる。

